



道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U.)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL: http://www1.ocn.ne.jp/~cru

第21回定期大会報告



去る7月24日、東京都荒川区のホテルラングウッドにおいて第21回定期大会が開催された。各単組代議員・地協議長から構成される代議員総数41名中、代理出席2名を含む39名の出席により大会の成立が確認された。

大会の冒頭、松議長より「時代の流れが、与えられる時代から選択の時代へと変わってきている中で、自己責任の比重が大きくなってきている。今出来ることを、多くの人が愚直に、当事者意識を持って取り組むこと、そこから生まれるコミュニケーションが重要になってくる。」と挨拶があった。

引き続き、2005年度の経過報告並びに決算報告が行われ承認された。2005年度は道建労協設立20周年を迎え、従来の活動を振り返ると共に、変革の時代に対応した取り組みを行うため「道建労協の目指すもの」の再構築を行うなど、節目であると同時に次世代への橋渡しとなる年であった。

続いて、2006年度の活動方針及び予算案が審議され承認された。基本理念である「モノづくりを通じて社会に貢献し、魅力ある道路建設産業の実現」を目指し、道建労協は次の10年に向けての新たな一歩を踏み出した。

役員改選では、大場新議長をはじめ11名が選出された。なお、今大会をもって議長の松雅彦氏（在任期間3年）、事務局長の渡辺智久氏（在任期間1年）が退任された。お二人のご尽力に感謝致します。大変お疲れ様でした。

2006年度の取り組み

2006年度の始まりに当たり一言ご挨拶申し上げます。

我々道路建設業界を取り巻く環境は、一昨年から続くアスファルトや原油の価格高騰の影響を受け、今年度も依然として厳しい経営環境が予想されます。

更に公共性の高い道路建設産業にとって、公共工事のさらなる縮減、2007年問題による技術・技能力の低下と人員不足による時間外労働問題など、多くの課題を抱えておりますが、これらの問題は即効的な改善策が無く、今後地道に粘り強く解決に向け取り組まなければなりません。

我々道建労協は今年設立21年目に入りましたが、設立当時の趣意を今一度鑑み、今現在我々が出来ることを各単組協力し合い解決しましょう。そして、20年前も今も志を変えず、先輩たちの熱い意志を受け継ぎ精進しましょう。

設立趣意についてここで紹介します。

「我々を取り巻く環境は複雑となり問題が多様化し、個別の労使での解決が困難な問題も増えてきています。これらの問題との対応を怠り、現状を放置すれば、道路産業においては、企業はもとより我々労働者は、益々時代に取り残されてしまう・・・中略・・・」

舗装労組連絡会（道建労協の前身）は情報交換のみならず、お互いの学習の場、啓蒙の場として役割を果たしてきましたが、このような環境が変化する中であって、これまでの枠を超えた新たな取り組みが求められています。我々は道路産業に働く多くの仲間の生活と権利の向上を目指して、また、道路産業の近代化の一翼を担うために連絡会を協議会として形を整え、ここに新たに集結することとしました。・・・省略」

さて、今年度の方針を紹介します。運動方針は①組織活動②産業政策活動③教宣活動の3項目を基本的な取り組みとしました。

①組織活動については、各単組における労使委員会の定期的開催と内容の充実を推進し、労働条件の改善に取り組むとともに、単組活動の質的向上に資するセミナーを適宜開催します。また、地方活動については、本部として可能な範囲で支援します。

②産業政策活動については、関係団体、友好組織との交流や連携を行い、土曜閉所運動を継続して推進します。

③教宣活動については、機関誌「PAVE」の年3回の発行とホームページの充実を図り、活動内容や業界内の情報を提供していきます。

最後に、道建労協は今年も引き続き、働く者に魅力ある産業づくりを実現するために柔軟な発想と迅速な対応を心がけ活動を行う所存です。人を結びつける組合活動の機能を十分に活かし、お互いに切磋琢磨し合いがんばりましょう。今後も更なるご支援、ご協力をお願い致します。

（議長 大場 信秀）



「原点」

ここ最近「ちよい悪オヤジ」という言葉をよく聞く。

日頃の修行（酒豪？）で見事に蓄えた脂肪をベルトにのせ、休日といったら寝巻き姿でゴロゴロ……。まさにその動きはトド（？）まるところを知らない。

そんなオヤジ達が若者の格好をしてみたり、スポーツなんか目覚めたりしている。自らすすんでか誰かに唆されてかは不明だが、私の愛するサーフィンの世界にもかなり進出してきた。

人生の荒波は幾度もくぐり抜けてきたはずのオヤジ達が、波打際でもみくちゃになってる。すぐに取ってしまいう休憩の度に、「どうしたら？」「コッは？」と若僧に教を乞う。やはり時代の流れ？年功序列は薄れて……。

そんなことを思いながら執筆していると、そこで急に筆が止まった。というの、当の本人がもうすっかりオヤジなんじゃないかと頭をよぎったからである。

だとすると若者も若者、オヤジもオヤジ、互いを尊重し合って……と言わざるを得ない。それは会社でも組合でも同じ事……。

フジタ道路職員組合

日暮 猛

フリー
ウェイ

◆ スケジュール

大会で承認された活動方針の年間スケジュールを紹介します。活動の経緯、報告はパイプ及びホームページで随時行っています。

2006年度道建労協年間スケジュール

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
各 種 会 議		中 執	中 執 単組代表者	三役会	中 執	中 執	三役会	中 執	三役会	中 執 単組代表者	三役会	中 執
大会・企業訪問	単組大会	単組大会	企業訪問	単組大会								定期大会 単組大会
研修会・セミナー						労 使 セミナー						支 援 セミナー
地 協 活 動		(定期総会)	(定期総会)	地 域 交流会		地協訪問					地 域 交流会	地 協 代表者
春闘への取組				調査時報	年齢構成 調査		基本方針	情報交換	情報交換			
産 労 懇			総会セミナー	運営委員会				運営委員会			運営委員会	
機 関 紙			69号			70号						71号
ポ ス タ ー				土曜閉所							土曜閉所	
ア ン ケ ー ト					土曜閉所							土曜閉所
そ の 他	道建協 日合協		道建協 日合協	道建協支部 日合協 (地方)						道建協 日合協	道建協支部 日合協 (地方)	

◆ 単組支援セミナー

定期大会に引き続き、単組支援セミナーが開催された。講師に(株)NIPPPOコーポレーションの保健師として従事されている下澤知子先生を迎え、「生活習慣病の予防について」と題して講演をいただいた。先生は、日頃から現場を回られているだけあって、我々道路建設産業における仕事の内容もさることながら、生活習慣をはじめとする業界ならではの特性に通じておられ、非常に身近でわかりやすい講演であった。

最初に、現在患者数が740万人（潜在者を含めるとその2倍）とも言われる糖尿病について、引き起こす原因や誘発する病気を挙げ、それがいかに深刻で将来の生活に影響を及ぼすかを説明された。この業界で働く多くの人々が、生活習慣における危険信号を孕んでいることからの説明であった。ちなみに健康診断において注意が特に必要なのは、1.肥満、2.尿酸値、3.中性脂肪、4.血糖値、5.血圧とのことである。

そこで、生活習慣病において、最近の話題には事欠かないメタボリックシンドロームについての「実験」を行った。参加者全員が用意されたメジャー片手に「85cm」の壁に挑んだ。次に、角砂糖が用意され、生活の中で非常に馴染みの深い「アルコール、缶コーヒー」等1杯について角砂糖を何個摂取しているかを、参加者の予想を交えながら行った。さらに、摂取したカロリーを消費するためにはどのくらいの運動量が必要かをスポーツの種目に例えながらわかりやすく説明していただいた。

健康に関しては、症状が出ない限りつい不養生しがちである。

今回は、いつも身の回りで接しているものを活用したセミナーだったこともあり、現在の状況を見つめ直す良い機会になったのではないだろうか。



地協活動報告



北海道地協

札幌地区ボウリング大会・ 地方交流会開催

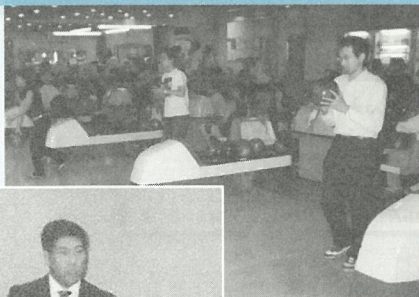
毎年恒例となっております、札幌地区ボウリング大会を、去る6月17日に札幌市中央区のスカイボウルにて行いました。土曜日という事もあって、例年よりも参加人数が少なめでしたが、ゲーム終了後の美味しいビールを飲む為、また、チーム優勝と豪華賞品？を賭けて34名が互いの意地を見せ合いました。そして、みなさんの熱心さの結果、ケガ人が出る事もなく2ゲームを終了し、無事、期待していた美味しいビールを飲む事ができました。優勝の栄冠はNIPPO労働組合の森川隆之さんが見事獲得されました。

今回も、良い成績だった人、結果に納得がいかなかった人、それぞれですが、各自の思いは、既に来年に向けているようです。次回の開催も大いに盛り上がる事でしょう。ご家族の方も大歓迎です。来年は、より多くの方に参加していただける事を願っています。

また、北海道地協はエリアが広く、各単組の親睦を図る為、各地域持ち回りで交流会を行っています。今年の交流会は、当初の順番でいくと道北地区だったのですが、道北と言えば、今は旭川、旭山動物園が大ブームという事もあり、大人気のレクリエーションを画策するのが困難であることから、急遽、道南方面の留寿都・洞爺湖へ変更して行いました。

開催日が7月29日からの週末、そして夏休み期間という事もあり、家族連れの参加が多散でした。家族でパークゴルフ、夜は親睦会という定番の流れではありますが、いつもは仕事で忙しいお父さん達も良い家族サービスができたと思います。何より参加していただいた子供達にとっては良い夏休みの思い出となったのではないのでしょうか。

北海道地協 幹事 新井 信之（大成ロテック社員組合）



定期総会・ボーリング大会開催

去る平成18年9月9日、道建労協関東地方協議会の第17回定期総会並びにボーリング大会が開催されました。昨年度と同様、定期総会・レクリエーション活動の、同時開催としました。

最初に行われた定期総会では、始めに大林道路職員組合の國崎さんが議長に選出され、その司会進行の下、議案が審議されました。議事は滞りなく進行し、今総会をもってフジタ道路職員組合の手塚幹事の退任、NIPPO労働組合の榎本会計幹事、フジタ道路職員組合の矢嶋幹事の就任等が承認されました。

引き続き行われたボーリング大会では、昨年度に引き続き東京舗装工業社員労働組合の女性陣が強さを見せ、豪華賞品を獲得されました。また、ご来賓の道建労協本部湯淺事務局長も、不断のトレーニングもあってが見事男子の部3位に食い込まれました。その後の懇親会では、ボーリング大会の表彰、ビンゴゲーム、カラオケが行われ、参加者一同楽しい一時を過ごしました。

昨年度と同様の形態での開催であったので、無駄な出費を抑えることができ、また幹事もうまく役割分担をして進行することができたと思います。各単組におかれましては、今後とも関東地協の金銭的・人的要請を快諾頂きますようお願い申し上げます。

関東地協 事務局長 岩淵 哲（NIPPO労働組合）

関東地協



意見交換会開催

平成18年7月22日琵琶湖グランドホテルにおいて第4回関西地協意見交換会を開催しました。

当日は本部より北川副議長に参加して頂き、9単組計16名の参加となりました。

今回の議題も『組合活動における問題点及び今後の組合活動の在り方』と漠然と大きなものとなりましたが、各単組厳しい環境化の中での問題点等活発な意見が飛び交い、それぞれの新しい組合活動を行う上での参考になったものと思われまふ。

また、大林道路職員組合では北川副議長が初めての本部専従者となり、新たな第一歩を踏み出すにあたり抱負を述べられ、新しい事にチャレンジする姿勢を感じ、情性化している組合活動になれてしまった私たちに勇気を与えて頂きました。

会議終了後は懇親会を開催し、真剣な議論から一転し和やかな雰囲気で見・情報交換が行われ親睦を深めることが出来ました。

今後ともこのような会を継続して開催し、各単組の活動が活性化できるよう協力できる地協を目指したいと思います。

関西地協 事務局長 井本 崇雄（前田道路労働組合）



関西地協

土曜閉所推進運動アンケート結果(2006年6月)

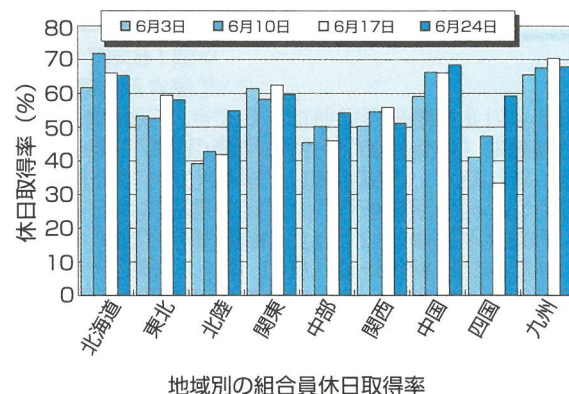
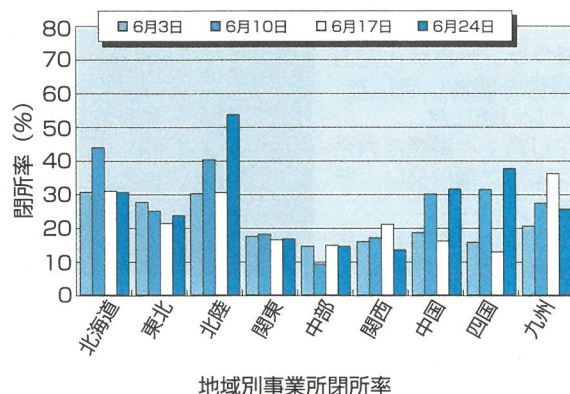
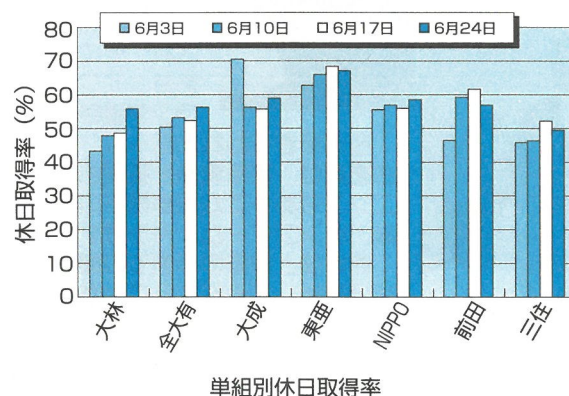
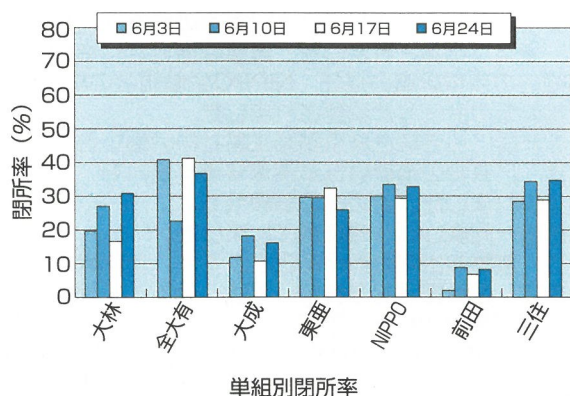
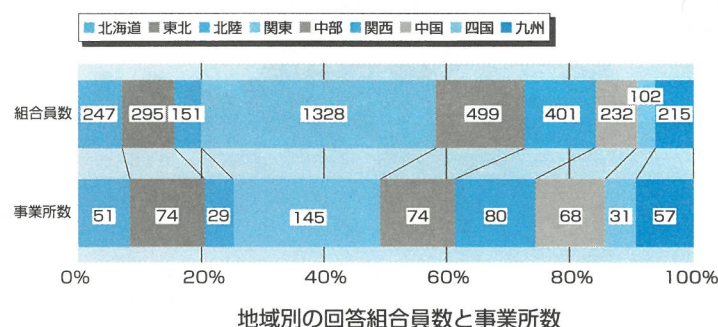
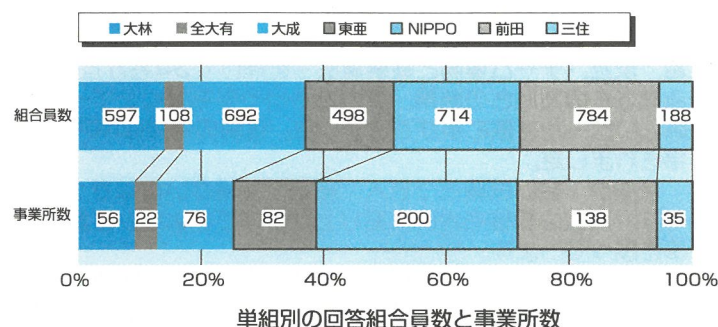
道建労協では、建設産労懇（建設産業労働組合懇話会）の仲間とともに、毎年6月と11月を事業所の土曜閉所推進運動の強調月間と位置付けながら、労働時短推に向けた運動を展開しております。今回は6月を『土曜閉所強調月間』と指定して第2・第4土曜を軸に月2回以上の閉所推進運動として取り組みを行いました。そして、『早めの決意が実を結ぶ みんなで取り組む土曜閉所』という標語が記載されたポスターを道建労協加盟単組の各事業所に配布すると共に、道建労協に加盟する組合の企業側や関係団体等に要請書を提出して、休日促進にご協力して頂くようお願いしました。

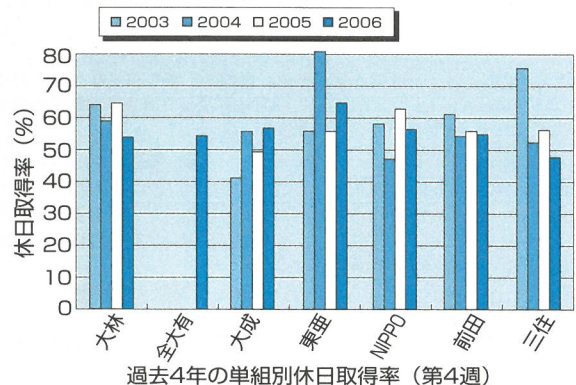
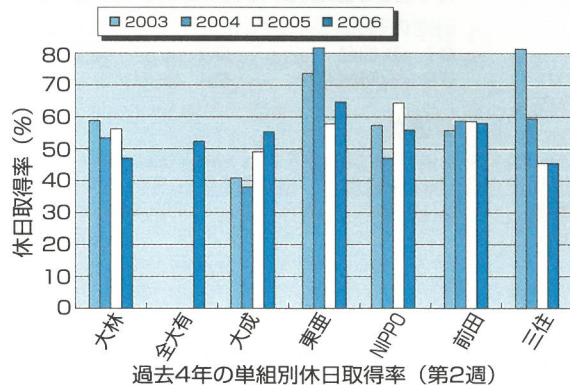
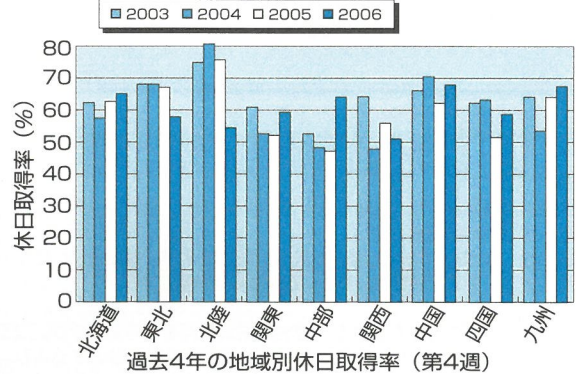
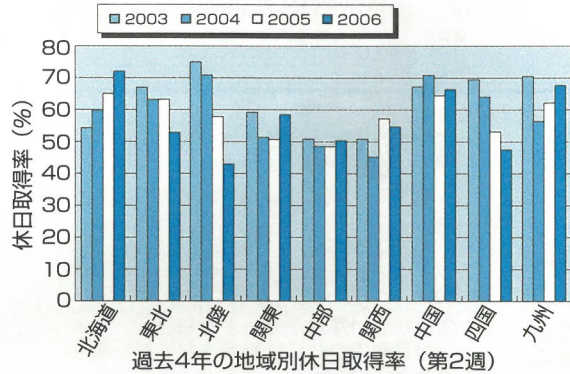
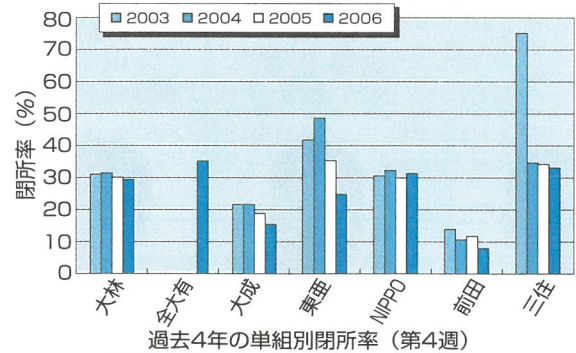
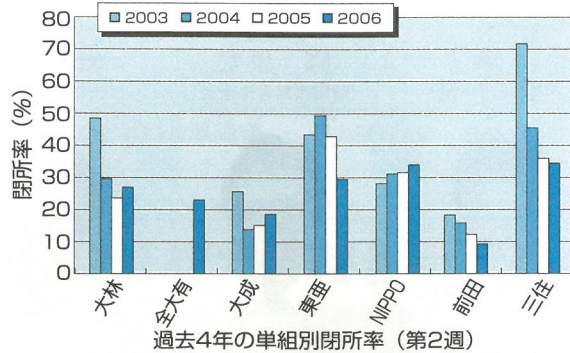
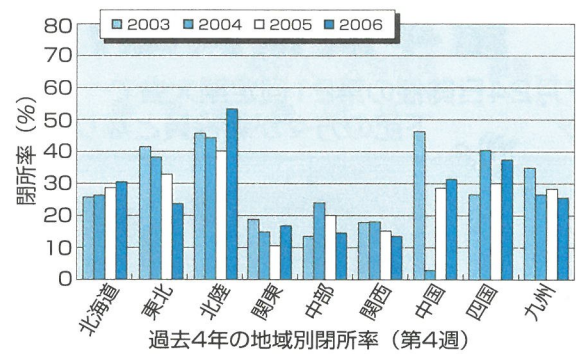
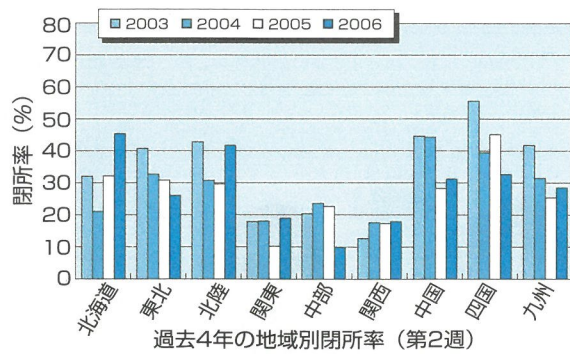
これら取り組みの結果を調査するため、2006年6月に全事業所を対象にアンケート調査を実施しましたので、その結果につきまして以下に報告させていただきます。

2006年6月の全国の閉所率は第1土曜日20.7%、第2土曜日24.5%、第3土曜日21.2%、第4土曜日24.0%でした。

単組別では、平均閉所率22.5%に対して、低かったのが前田道路労組の6.34%、逆に、高かったのが全大有建設労組の35.2%、次いで三井住建労組の31.4%という結果となりました。

地域別の平均閉所率では、中部地域が13.5%、関西地域が17.2%と低く、北陸地域が39.7%、次いで北海道地域が34.8%と高い結果となりました。

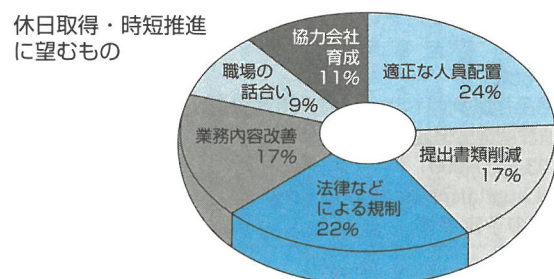
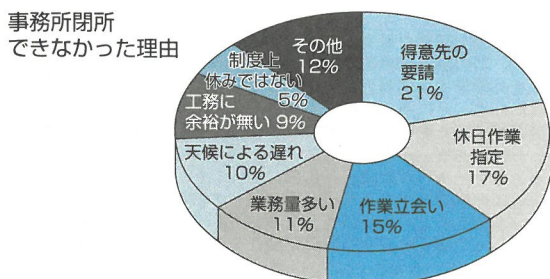




事業所を閉所できない理由としては、『営業打合せ、作業打合せなど得意先からの要望』が最も多く21%、『休日作業指定の工事があるから』が17%、『下請け・作業員の作業に立ち会う必要があるため』が15%、『配置人員が少なく、業務量に追いつかないため』が11%、『天候などの影響により工期が遅れているため』が10%、その他はほぼ同数でありました。

休日取得や時短を進めるために、今後望まれる点は、『適正な人員配置』が24%と最も多く、『法律などによる規制』は22%、『提出書類の削減』と『業務内容の改善』が17%、『協力会社の育成』が11%、『職場の話し合い』が9%でありました。

なお、次回も11月を『土曜閉所強調月間』と指定して閉所への取り組みを強化していきます。業務多忙の中、本アンケートに協力頂きました組合員のみなさんにお礼申し上げます。





新年度役員紹介

7月24日開催の第21回定期大会で
下記の方々が新役員となりました。



議長
大場 信秀
(NIPPO労働組合)



副議長
才川 昌信
(東亜道路労働組合)



副議長
北川 順三
(大林道路職員組合)



副議長
條 康宏
(前田道路労働組合)



事務局長
湯浅 慎司
(大成ロテック社員組合)



中央執行委員
北埜 忠広
(全大有労働組合)



中央執行委員
澄川 武
(三井住建道路労働組合)



中央執行委員
日暮 猛
(フジタ道路職員組合)



中央執行委員
野口 光博
(東京舗装工業社員労働組合)



会計監事
竹内 弘生
(大林道路職員組合)



会計監事
今野 吉丈
(東亜道路労働組合)

物知リクイズ

季節はもう秋。秋の夜長は好きなことをしながら、のんびりと過ごしたいものです。
それでも飽くことがないのは食欲です。
芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋とはよく言ったものですが、なんといっても食欲の秋に勝るものはないでしょう。そこで今回は、「食」にちなんだ問題です。

Q1 世界各国いろんな美味がありますが、世界の三大料理をご存知ですか。フランス料理と中国料理はよく知られたところですが、もう1カ国、「空腹で物見遊山するより、食べ過ぎて死ぬほうがましである」という諺もあるほど食べる事の大好きな国はどこでしょうか？

1. イタリア 2. インド 3. エジプト 4. トルコ

Q2 食欲といえばグルメガイドは欠かせません。世界的に最も有名なグルメガイドといわれる、3つ星でおなじみの「ミシュラン」、実はこのガイドブックは会社の製品広告のために作られたといわれています。一体何の会社でしょうか？

1. 家具 2. トランシーバー 3. タイヤ 4. 宝石

Q3 秋といえば秋刀魚。脂の乗った焼き秋刀魚にスタチをかけて・・・なんて言うのと涎が滴ってきそうですが、すばり「秋刀魚の味」という映画が世界的に有名な日本の映画監督によって作られているんですね。その監督とは誰でしょう？

1. 小津安二郎 2. 黒澤 明 3. 今村昌平 4. 北野 武

Q4 海軍が誇りにしている料理。横須賀(神奈川県) = カレー、佐世保(長崎県) = ビーフシチューなどが有名ですが、なんと、舞鶴(京都府)と呉(広島県)の海軍同士で、ある料理の発祥をめぐる争っているそうです。その料理とは何でしょうか？

1. 鳥のから揚げ 2. 肉じゃが 3. コロッケ 4. チキンライス

物知リクイズ当選者

第68号PAVE「物知リクイズ」の当選者が決定しました。

今回の問題はいろいろな記念日のある7月にちなんだクイズでした。

(みなさんの特別な記念日は何の日ですか？やっぱり誕生日が思い浮かぶでしょうね。)

当選者の方々には粗品をお送りします。ご応募ありがとうございました。多数の応募お待ちしております。

前回の答え

Q1 ① 仙台 **Q3** ② ブームタウン・ラッツ
Q2 ③ 野村克也 **Q4** ② ジェットコースター

当選者

松島 良和(大林道路職員組合)
加藤 晃(全大有労働組合)
古川 貴祥(全大有労働組合)
中村 勝(大成ロテック社員組合)
泉田 忠晴(東亜道路労働組合)
竹内 裕人(東亜道路労働組合)
濱崎 義則(東亜道路労働組合)
海原 一人(NIPPO労働組合)
中山 政伺(NIPPO労働組合)
甲斐 勇気(前田道路労働組合)
鈴木 芳子(前田道路労働組合)(敬称略)

編・集・後・記

●9月20日自民党総裁選挙が行われた。総裁には国民の人気がある安倍官房長官が選出され、人気先行型の政権に引き続きなろうとしている。しかし、大切なのは安倍政権が「日本をどんな国にしたいのか」である。財政再建、社会保障制度、人口減少社会、外交など課題は山積している。

私たちは、小泉政権時代を踏まえ「日本は本当にこれでいいのか」と自問自答をしながら、来年の統一地方選挙、参議院選挙を迎えなければならないのではないだろうか。

東亜道路労働組合 才川 昌信

●春から続く原油価格の高騰は、未だ収束する様子を見せるどころか、長期的には高止まりになるとの予想が有識者の大半を占める。混沌としている中東情勢の地政的な問題だけでなく、世界的な投機マネーの影響もその原因となっているようだ。ともあれ、この原油価格の高騰は我々石油製品を扱う業界を直撃するだけでなく、身近な我々の生活を直撃する問題となっているのは、間違いない。これから暖房の燃料需要が増える季節に向かって、その懸念は大きくなるところである。

ところで、今年の夏も猛暑が続いた影響が数年前より環境庁が音頭をとって推進しているクールビズがすっかり定着した感がある。一昔前の省エネネットワークとは違い、オシャレ度も大分上がったようだ。世のオジサンもクールビズの波に乗るのに苦労したのは？さて、10月からはクールビズならぬウォームビズの推進が始まる様子。原油価格の高騰や地球環境問題を受けて浸透していくのだろうか？いまひとつどんな格好をして良いものやら思いつかないが、「まず、懐がウォームにならなきゃ」なんて嘆くオジサンの声が聞こえてきそうである。

東京舗装工業社員労働組合 野口 光博

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募お待ちしております。

- 解答 ●住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 10/31(火)
- 宛先 〒141-8665

東京都品川区大崎1-13-3 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
FAX 03-5487-0051

E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は1月発行の予定です。